

2026（令和8）年度 広域単位互換科目

瀬戸内海の養殖水産物を学ぶ総合演習

(Practice on economic marine invertebrates and seaweeds in the Seto Inland Sea) シラバス

*科目 No.

2111

科目概要記入欄

1. 開設大学	広島大学 生物生産学部		開催方法	■対面（瀬戸内 CN 国際共同研究センター水産実験所）	
	正式科目名 副題	瀬戸内海の養殖水産物を学ぶ総合演習 (Practice on economic marine invertebrates and seaweeds in the Seto Inland Sea)		配当年次	1～4
	受入学年	1～4			
学問分野	番号	33	名称	水産学	
3. 担当教員名	加藤亜記・和田茂樹・羽倉義雄・豊田賢治・柴田淳也				
4. 単位数	2 単位	2 単位	2 単位		
6. 開講期間 曜日・時間	2027 年 1 月 19 日(火)～2027 年 1 月 22 日(金)				
7. 基礎知識の有無	・「基礎知識を必要とする科目」 (生物学・水産学)				
8. 募集人数	10 人	9. 選考方法	書類選考		
10. 科目内容・授業計画	<p>本演習は、瀬戸内海に面した広島大学瀬戸内 CN 国際共同研究センター水産実験所(広島県竹原市)で実施されます。</p> <p>瀬戸内海は、沿岸域をおもな生息場とする魚介類の供給源として重要な海域で、沿岸漁業と養殖業が全国の生産量の約 2 割に相当します。また、総生産量および総生産額の両面で、沿岸漁業よりも、養殖業の貢献が全国に比べて大きいです。中でも、カキおよびノリ養殖の寄与が極めて大きく、両方で瀬戸内海の総養殖生産量の約 9 割を占めています。</p> <p>本演習では、おもに非魚類の有用水産生物として、カキやノリを含む、海産無脊椎動物や海藻の分類学、形態学、生理生態学の基礎について観察や分析により習得します。さらに、水産実験所近隣の、栽培漁業センター、カキやノリの養殖施設の見学および加工体験、食品工場での水産加工品の製造実習を行うことで、瀬戸内海的环境と生物の特徴、水産物の 1 次産業(増養殖)から 2 次産業(加工)までの理解を深めます。</p>				
	1/19(火)	14:00-4:40 15:00-16:10 16:30-8:30	受付・ガイダンス 養殖施設見学(広島県栽培漁業協会:種苗生産) 演習に関する課題学習		
	1/20(水)	8:30-10:00 10:00-12:00 13:00-8:00	講義「有用海藻の生物学」 実習「有用海藻の観察・同定・実験」 養殖施設見学(広島県福山市田島漁協:ノリ養殖)		
	1/21(木)	9:00-10:00 10:30-11:30 13:00-15:00 15:00-18:30	講義「カキに関する話題提供」 養殖施設見学(広島県安芸津町安芸津漁協:カキ養殖) 実習「カキ等の観察および実験」 発表スライド作成		
	1/22(金)	8:00-8:30 9:30-12:00 12:00-13:00 13:00-14:30 14:30-16:00 16:00-	水産実験所清掃 レトルト食品製造講義・実習(以下、広島大学統合生命科学研究所) 試食・昼食 発表スライド作成・発表練習 発表会・まとめ 解散		
11. 試験・評価方法	受講態度 50 点、発表 50 点で評価				
12. 別途負担費用	<p>●実費：7,000 円（授業期間中の食事費等を含む）を現地で徴収します。また、集合場所への旅費は自己負担です。</p> <p>●傷害保険・賠償保険：事前に学生教育研究災害傷害保険ならびに学研災付帯賠償責任保険（財団法人日本国際教育支援協会）に加入しておいてください。</p>				

13. その他特記事項

- 開始日時:1月19日(火)14:00(昼食を済ませておいてください)
 - 開催場所:広島大学瀬戸内 CN 国際共同研究センターブルーイノベーション部門水産実験所
〒725-0024 広島県竹原市港町 5-8-1
ホームページ <http://fishlab.hiroshima-u.ac.jp>
 - 初日の集合場所は上記の水産実験所です。自家用車での水産実験所への集合は禁止します。
* 宿泊地は水産実験所、解散場所は東広島キャンパスです(下記参照)。最終日の朝、バス(こちらで手配)で、竹原から東広島へ移動します。
* 水産実験所から徒歩圏内(約10分)にコンビニエンスストアがあります。食事は、朝、昼、夕の3食こちらで手配します。
 - 解散場所:広島大学大学院統合生命科学研究科東広島キャンパス
〒739-8528 広島県東広島市鏡山 1-4-4
* 最終日の昼食後(16:00)に解散。東広島キャンパスから JR 西条駅行きの路線バスが出ています(帰りのバスは各自負担)。
<https://www.hiroshima-u.ac.jp/access/higashihiroshima>
 - 注意事項:①水産実験所、東広島キャンパスともに全面禁煙です。屋内・屋外のいずれにも喫煙場所はありません。また、実習期間中の飲酒は厳禁です。これらが守れない受講者には単位認定しません。
②天候等により、上記スケジュールに変更がある可能性があります。
 - 対象学生:生物学または水産学の基礎知識を持つ学生。
 - 予習・復習へのアドバイス:日本や瀬戸内海の沿岸の生物や自然、漁業・養殖業について、情報収集を事前しておくこと。
(参考:水産実験所 <https://fishlab.hiroshima-u.ac.jp/>のサイドバーから「瀬戸内海の生き物」「実習・演習に関する学術用語の解説」)
 - 持ち物:マイナ保険証か資格確認書、釣具(釣り希望者のみ)、ノートPCなど、筆記用具、合羽または傘、洗面具、タオル、着替え、身の回り品、体調に不安のある人は飲み慣れた薬等
* 養殖施設・加工場の見学のため、服装は長袖、長ズボン、濡れたり汚れたりしてもかまわない靴が望ましいです。野外設備の見学があるので、雨天に備えて、合羽または傘を持参してください。
* 食品工場での実習では、髪の毛の長い人は、髪をまとめるヘアゴム等を持参してください。
 - 履修の辞退は原則できません。やむなく欠席する場合は、必ず広島大学生物学系総括支援室まで電話またはメールでご連絡ください。ただし、2027年1月15日(金)正午以降の欠席連絡は、食費を実費負担していただきます。
 - 本授業科目は、広島大学を含む中国地方・広域単位互換ネットワークの大学および北海道大学、京都大学、長崎大学の農学・生物学の基礎知識を持つ学生向けに開講されるものです。外国人の受講者がいる場合は、部分的に英語で説明を行います。
- 【問合せ・連絡先】
広島大学生物学系総括支援室(学士支援担当)
〒739-8528 広島県東広島市鏡山 1-4-4 TEL 082-424-7915 FAX 082-424-6480
sei-gaku-sien@office.hiroshima-u.ac.jp
広島大学瀬戸内 CN 国際共同研究センターブルーイノベーション部門水産実験所
〒725-0024 広島県竹原市港町 5-8-1 TEL 0846-24-6781 FAX 0846-23-0038
主担当教員:(准教授 加藤亜記) katoa@hiroshima-u.ac.jp
(特任助教 柴田淳也) jshiba@hiroshima-u.ac.jp

広島大学

「瀬戸内海の養殖水産物を学ぶ総合演習」

2027年 1月19～22日 (火～金)

2単位が認定されます!

開催・宿泊：広島大学瀬戸内CN国際共同研究センター
ブルーイノベーション部門 水産実験所 (広島県竹原市港町5-8-1)

水産物の養殖施設(カキ・ノリ)の見学や食品工場実習・講義を通して、
水産物の生産から加工の部分について総合的に学びます。
(生物学・水産学の基礎的知識が必要です。対象学年：1～4年)

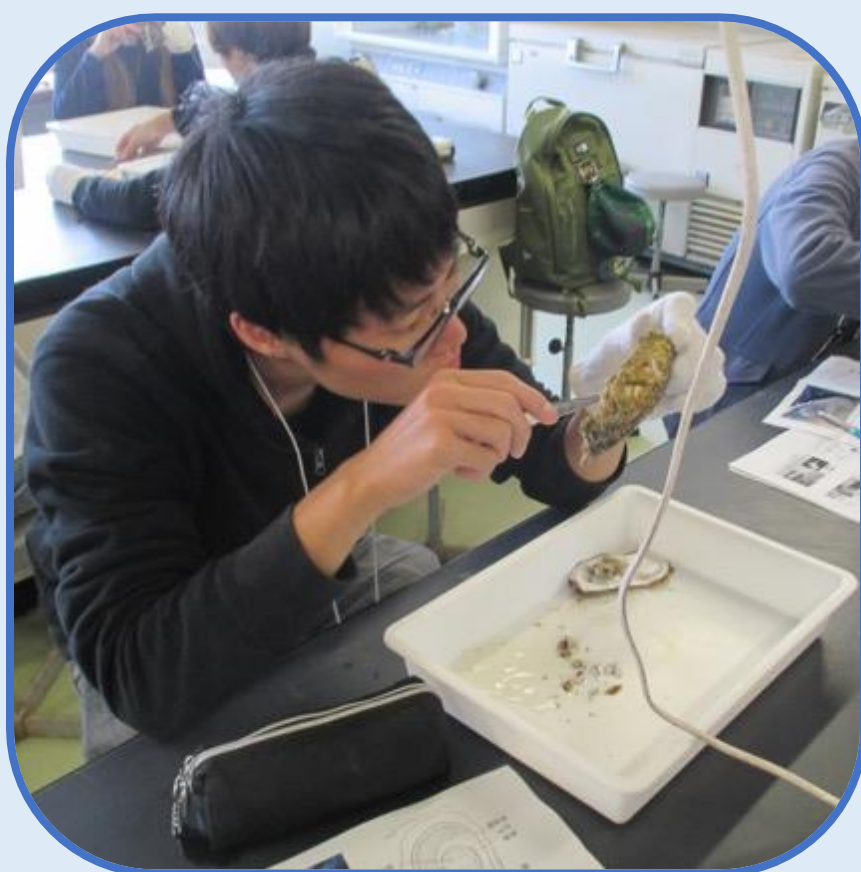
参加費：7,000円 (食費・宿泊費・諸経費込み。現金にて現地支払い)

おもな実習内容



カキを食べる時、カキをよく見たことはありますか？

カキ打ち体験・カキの観察



地元の魚をいつまでも食べたいですね！

栽培漁業センターの見学



調理実習だけじゃない。この設備は自慢です！

レトルト食品の製造



当たり前前に食べている海苔を見直そう

ノリ養殖・加工現場の見学

内容に関する問い合わせ先：

〒725-0024 広島県竹原市港町5-8-1 TEL: 0846-24-6781(主担当教員)

「瀬戸内海の養殖水産物を学ぶ総合演習」 日程表

*日程・実習内容は天候等により変更することがあります

日程	時刻	内容
1/19 (火)	14:00	水産実験所集合 (各自、公共交通機関を利用)
	14:00-14:40	水産実験所で受付・ガイダンス
	15:00-16:10	養殖施設見学 (広島県栽培漁業協会: 種苗生産)
	16:30-18:30	演習に関する課題学習
1/20 (水)	8:30-10:00	講義「有用海藻の生物学」
	10:00-12:00	実習「有用海藻の観察・同定・実験」
	13:00-18:00	養殖施設見学 (広島県福山市田島漁協: ノリ養殖)
1/21 (木)	9:00-10:00	講義「カキに関する話題提供」
	10:30-11:30	養殖施設見学 (広島県東広島市安芸津漁協: カキ養殖)
	13:00-15:00	実習「カキ等の観察および同定」
	15:00-17:30	発表スライド作成
1/22 (金)	8:00-8:30	水産実験所清掃
	9:30-12:00	レトルト食品製造講義・実習 (広島大学東広島キャンパス)
	12:00-13:00	試食・昼食
	13:00-14:30	発表スライド作成・発表練習
	14:30-16:00	発表会・まとめ・アンケート
	16:00-	解散 (東広島キャンパス)

自家用車での来学不可 集合は水産実験所に14時00分。各自、昼食を済ませて集合。各自、公共交通機関を利用して来所ください。

解散は東広島キャンパス16時00分 東広島キャンパスでの発表会后、現地解散。東広島キャンパスからJR西条駅や各方面行きの路線バスが出ています (大学HPのアクセス情報を参照ください<https://www.hiroshima-u.ac.jp/access/higashihiroshima>)。

禁煙・禁酒です。 水産実験所、東広島キャンパスともに全面禁煙です (喫煙場所はありません)。飲酒や喫煙の場合は、**単位認定しません。**

1月15日正午以降の欠席連絡は食費・寝具等の実費負担があります。 欠席は、必ず広島大学生物学系統括支援室 (下記) へ電話かメールで連絡ください。所属大学の事務室にも連絡が必要です。

●本演習は、**単位互換制度のある協定大学および広島大学の学生向け (農学・生物学系) に開講されます。**

持ち物: マイナ保険証か資格確認書, 釣具 (釣り希望者のみ), ノートPCなど, 筆記用具, 合羽または傘, 洗面具, タオル, 着替え, 身の回り品, 体調に不安のある人は飲み慣れた薬等

* 養殖施設・加工場の見学のため, 服装は長袖, 長ズボン, 濡れたり汚れたりしても気にならない靴が望ましいです。野外の見学があるので, 雨天に備えて, 合羽または傘を持参してください。* 食品工場での実習では, 髪の毛の長い人は, ヘアゴム等で髪をまとめられるようにしてください。

予習・復習へのアドバイス

実習で学んだ成果をまとめて発表します。そのため、瀬戸内海地域の自然や農水産業への関心や知識があることが望ましいです。

発表内容の話し合いやスライド作成に積極的に参加しましょう。



班で発表会の準備中

実習中の食事

弁当または簡単な自炊です。

最寄りのコンビニまで徒歩10分ほどです。



朝食の準備中

実習の参考HP



宿泊施設 紹介HP



広島大学問い合わせ先: 広島大学生物学系統括支援室 (学士支援担当)

〒739-8528 広島県東広島市鏡山1-4-4 TEL 082-424-7915 FAX 082-424-6480

sei-gaku-sien@office.hiroshima-u.ac.jp